

二宮小学校だより



二宮町立二宮小学校学校だより
令和3年度第4号(3/17発行)

卒業式を明日に控え、今年度もあとわずかとなりました。振り返ると、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「新しい生活様式」に則った学校生活となりました。それでも子どもたちは、制限のある中で、自分たちなりの楽しみ方を工夫したり、お互いを思いやったりしながら、前向きに毎日を過ごすことができました。来年度は、これまでの2年間の経験を踏まえ、感染症対策と教育活動のバランスをとりながら、子どもたちの成長にとって何が大切かという視点を見失うことなく、授業や学校行事など、様々なことを進めていきたいと思えます。

今年度も、保護者の皆様及び地域の皆様には、子どもたちの安心・安全な登下校の見守り、校内の環境整備や教育活動へのご理解、ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

ありがとう6年生集会

今年度も、体育館に全校で集まることはせず、前もって撮影した動画を各教室で一斉に見る形で行いました。各学年から、これまでいろいろな場面でお世話になった6年生に対する感謝の気持ちを伝える出し物と、6年生からのお礼の気持ちを伝える映像からは、それぞれの学年の思いや気持ちが十分に伝わってきました。

1年生は、「いけいけピッカピカ」を踊りました。このダンスが大好きな1年生、笑顔いっぱい元気いっぱい踊りました。コロナ禍で6年生との交流も制限された中でしたが、いろいろな場面を通して優しく接してくれたお兄さんお姉さんへのありがとうの気持ちを表しました。



2年生は、運動会で踊った大好きな「スマイル」の曲に合わせて踊りました。6年生が中学校に行き、勉強や部活でつらくなっても、「スマイル」の気持ちを忘れずに、いつも笑顔で楽しい中学校生活を送ってくださいという気持ちを込めて踊りました。



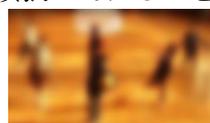
3年生は、クラスごとに、テーマを設定し6年生への感謝の思いを伝えました。1組は「ありがとう」をテーマに替え歌(ドラえもん主題歌「虹」)にして伝えました。2組は「いいところ」をテーマにお笑いの形(6年生の武勇伝)で伝えました。3組は「かつこ

い」をテーマに劇で伝えました。

また、黒板アートにも挑戦し、いろいろな場面を通して優しく接してくれた6年生へのありがとうの気持ちを表しました。



4年生は、総合的な学習の時間に学んだ手話を生かし、6年生への感謝の気持ちを込めて「ありがとうの花」の手話をしました。手話プロジェクトの児童がリーダーとなり、各クラスで練習を重ねました。中学校へ進学する6年生に頑張ってもらいたいという気持ちと、自分たちは来年度から高学年となって、6年生をお手本として、二宮小学校のリーダーとしてがんばっていきたいという気持ちを表しました。



5年生は、実行委員が中心となり、劇づくりやイラスト作成、作文などの準備を行いました。5年生の一人ひとりが関わり、6年生への感謝の気持ちを込めた「メッセージカード作成動画」を制作しました。活動を通して、これまで頼りにしてきた6年生がいなくなってしまう寂しさとともに、中学校でも活躍してほしいという気持ち、そして、「次は自分たちの番だ!」という気概をもつことができました。



6年生は、在校生に向けてこれからの二宮小学校を元気で明るい小学校にしていってほしいという思いを込めて、パネルを用いて「二宮小学校の思い出、6年間で頑張ったこと、6年間で学んだこと、二宮小学校の良いところ」を紹介しました。二宮小学校にはたくさんの思い出が詰まっていると感じ、各学年の出し物を見ながら、それぞれの学年での思い出などを懐かしんでいました。



在校生は、6年生からのバトンをしっかりと受け継ぎました。6年生は、二宮小の卒業生だということを誇りに、中学校でもがんばってください。